

現在本校では、ICT環境の整備を進めており、教育・学習におけるICT機器の活用に取り組んでいます。このICT通信では、実際に活用している校内のICT機器、ICT機器を活用した学習の様子を紹介いたします。

## GIGA端末について

GIGA端末とは、GIGAスクール構想の一環として、国公立及び私立の小中学校・特別支援学校の児童・生徒に配備されている、一人1台端末です。

校内では、課題（学習教材等）の配信を行ったり、アプリケーションソフトを利用して、課題を掘り下げ、周囲の児童・生徒と意見交換したりして共有しながら学習を行っています。課題や答えなどを共有することで理解をより深めることができます。また、この端末は、自宅等の校外でもアプリケーションによる学習を行うことができる他、登校制限時には、オンライン学習にも活用することができます。

一人1台端末を利用することによって、子供たち一人一人の興味・関心や理解度、学ぶペース、学び方等に応じて端末を使用して、学習への興味・関心を広げられればと思います。



子供たちがICTを適切・安全に使いこなすことができ、そして、ネットリテラシーなどの情報活用能力を育成していくためにも、ICT環境の整備や、GIGA端末をはじめとしたICT機器の活用を進めていきます。



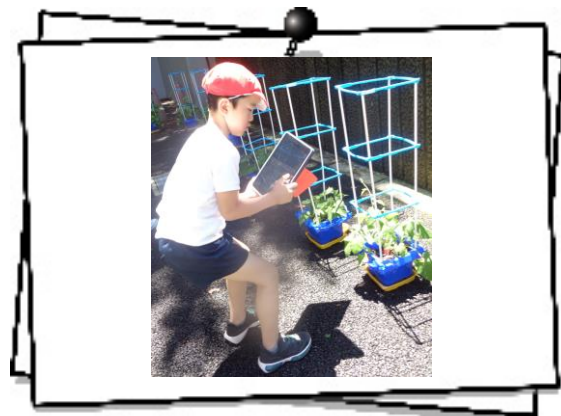
### デジタルサポーター（ICT支援員）大窪 千紗 さん

本校では、デジタルサポーターの制度を活用しています。デジタルサポーターとは、デジタル環境の整備に合わせ、授業や校内研修、校内環境整備、校務支援など、学校でのICT活用を支援する外部人材のことです。校内の授業や研修等で使用するICT機器・ソフトウェアの設定や操作方法の説明に加え、プログラミングソフトアプリ「スクラッチ」を使用したデジタル教材の作成に関わっていただくなど、校内ICT機器活用の操作支援サポート業務を行っています。



# GIGA端末を活用した授業

小学部2年生の生活単元学習では、あさがおの栽培を行っています。パワーポイントを活用しての事前学習を行い、あさがおについて、種の植え方について確認をしました。その後、生活単元学習の時間や昼休みに、児童それぞれが生長の様子をGIGA端末で写真を撮り、みんなで共有することができました。また、学級ごとにあさがおの観察日記を作成し、自分のGIGA端末で写真を撮影したものを印刷して貼り付けたり、写真画像を見ながら絵を描いたりして、生長の記録を残しています。



中学部の美術の授業では、国内外の有名な作品鑑賞を行った後に「Kahoot!」というクイズアプリを使って鑑賞内容に関連した問題に生徒一人一人が取り組んでいます。

QRコードで「Kahoot!」に入り、自分の名前やニックネームなどを打ち込んだ後に、各問題の解答を二者選択方式で答えています。このアプリケーションソフトは、早押しでボタンを操作して正解するとより多くのポイントがもらえます。1問ごとにポイント数で順位が表示されることから、生徒たちはモニターや自身の端末をよく見て、早くかつ正答数が増えるよう主体的に取り組んでいます。

